

責任あるAIの 取り組み



概要

基本的な考え方

ソニーは、AI (人工知能) を活用することにより、平和で持続可能な社会の発展に貢献し、人々に感動を提供することを目指しています。同時に、ソニーは、AIが社会に与える影響は多面的なものであり、意図しない結果をもたらす可能性があることを認識しています。ソニーは、エレクトロニクスを礎に事業領域を拡大し、半導体事業、また音楽、映画、ゲームなどのエンタテインメント事業や、金融事業を手掛ける、多様性を持ったグローバル企業となりました。「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」という共通のPurposeを踏まえてこれらの事業を運営していくために、ソニーグループAI倫理ガイドラインを定め、多様なステークホルダーとの対話を進めるとともに、ソニーにおけるAIの活用や研究開発を促進しています。

ソニーグループAI倫理ガイドライン

「ソニーグループAI倫理ガイドライン」(2018年9月制定、直近では2021年4月改定) は以下の項目で構成され、ソニーにおけるAIの活用や研究開発を促進していくソニーの全ての役員および社員が、社会と調和したAIの活用や研究開発を行う際の指針を定めています。

1. 豊かな生活とより良い社会の実現
2. ステークホルダーとの対話
3. 安心して使える商品・サービスの提供
4. プライバシーの保護
5. 公平性の尊重
6. 透明性の追求
7. AIの発展と人材の育成

体制

2019年12月の「ソニーグループAI倫理委員会」の設置に加えて、ソニーグループの全ての事業に対し、AI倫理に関する専門知識を提供するための中心的な役割を果たす組織としてAI倫理室を2021年に設置するなど、AI倫理に関する活動および体制の強化を進めています。

■ これまでの取り組み

- 2018年 ソニーグループAI倫理ガイドライン策定
- 2019年 ソニーグループAI倫理委員会を設置
- 2021年 ソニーグループ株式会社内にAI倫理室を設置
- 2023年 ソニーグループ株式会社として、生成AIツールの利用にかかる社内ガイドラインを策定

[ソニーグループAI倫理ガイドライン \[PDF: 103KB\]](#)

[ソニーグループのResponsible AIへの取り組み](#)

Sony's Purpose & Values

ソニーグループ行動規範

ソニーのサステナビリティに関する基本方針

Sony's Sustainability Vision

At a Glance 2023

編集方針・事業概要

ソニーのサステナビリティ

マテリアリティ

人材

安全衛生

人権の尊重

責任あるAIの取り組み

概要

責任あるAIの推進

アクセシビリティ

品質・カスタマーサービス

責任あるサプライチェーン

コミュニティ・エンゲージメント

環境

テクノロジーの活用

倫理・コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス

サステナビリティ関連情報

責任あるAIの推進

AI倫理リスクへの対応

2019年に「ソニーグループAI倫理委員会」を設置し、ソニーにおけるAI活用や研究開発が、ソニーグループAI倫理ガイドラインに沿って社会的・倫理的な妥当性をもって行われているかを確認し、さまざまな視点から審査しています。

さらに、ソニーグループの全ての事業に対し、AI倫理に関する専門知識を提供するための中心的な役割を果たす組織としてAI倫理室を2021年に設置するなど、AI倫理に関する活動および体制の強化を進めています。具体的にはソニーグループ各ビジネスユニットにおけるAIを利用した製品・サービスあるいは社内業務に関して、連絡体制を構築しAI倫理リスクの情報共有を行ってきました。

2021年3月にはエレクトロニクス製品やサービスの商品化プロセスにおいて、「ソニーグループAI倫理ガイドライン」に基づいて遵守すべき要求事項を定めた社内文書を整備し、2021年7月に製品開発ライフサイクルにおけるAI倫理アセスメントを開始し、100件以上の評価を実施しました。社員へAI倫理に関する理解を促す啓発活動では、e-ラーニングを活用した教育を実施するとともに、社外から講師を招いた講演会やシンポジウムを開催し議論を行っています。

また、ソニーでは生成AIについても対応すべき喫緊の課題として認識しており、2023年度においては、ソニーグループ株式会社として、生成AIツールの利用にかかる社内ガイドラインを策定しました。

ステークホルダーとの対話と外部協業

ソニーは、AIの利用による倫理的な課題に関して、お客様やクリエイターの方々をはじめ多様なステークホルダーの関心に配慮し、関連する企業、

団体および学術コミュニティなどと積極的に対話を進めています。

パートナーシップ・オン・AI (PAI)

2017年5月、AI技術の啓発と倫理面を含む人間社会の課題解決に共同で取り組み、人間社会に貢献することを目的として設立された非営利団体であるPAIに日本企業として初めて参画しました。AI倫理の観点では、「Fairness, Transparency, Accountability」(公平性、透明性、アカウントビリティ) が代表的なイシューであり、「FTA」と総称されます。ソニーはAIやロボティクスにかかる研究開発や事業活動を通じて得られた知見を生かし、このようなイシューに関する複数のワーキンググループで貢献してきました。現在はPAIのポリシーステアリングコミティ、およびData Enrichment Workstreamのメンバーとして活動しています。

日本の経済団体、関係府省との連携

日本においては、2019年3月に公表された内閣府「人間中心のAI社会原則」や、2023年10月に公表された日本経済団体連合会「AI活用戦略II」など、AIをより良い形で社会実装していくための原則や指針づくりにも参画しています。また、AIの社会実装のさらなる促進などを目指して国家戦略の検討を主導する内閣府「AI戦略会議」や、社会全体におけるAIネットワーク化の推進に向けた社会的・経済的・倫理的・法的課題を総合的に検討することを目的として開催されている、総務省「AIネットワーク社会推進会議」に構成員として参画しており、日本におけるAIガバナンスの統一的な指針を示す、2024年4月に公表された「AI事業者ガイドライン」の策定にも貢献しています。

海外との連携

さらに、ソニーは、2020年6月に設立された、人間中心の考えに基づく責任あるAIの開発と使用に取り組むイニシアティブである「AIに関するグローバルパートナーシップ (Global Partnership on AI)」にも参加し、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の流行に対して責任あるAIのソリューション開発を支援するためのワーキンググループである、「AI and Pandemic Response」の構成員も務めています。また、CTOの北野

は、国連事務総長が招集するAIに関する諮問機関であり、AIのリスクと可能性、および国際的なガバナンスに関し、有識者による専門的な分析と提言を行う国連「High-level Advisory Body on Artificial Intelligence」のメンバーを2023年10月の設立時から務めています。

加えて、米国のシンクタンクThe Center for Strategic and International Studies (CSIS : 戦略国際問題研究所) のAI Councilからの依頼に基づき、ソニーはCouncil Memberとして、2023年G7広島サミットにおけるAI倫理関連アジェンダの形成、およびAIの責任ある開発と使用に関する共通のグローバル規範の合意に向けた活動に参画しました。また、CTOの北野は、2023年11月の英国AI Safety Summitで発表された、先進的なAIシステムの安全性に関する最新の科学的理解を推進するための「International Scientific Report on the Safety of Advanced AI」を編纂するExpert Advisory Panelに参画しています。

信頼されるAIの研究開発

ソニーは、テクノロジーに裏打ちされた信頼されるAIの研究開発を進めており、AI倫理への技術的なアプローチを強化しています。公平性、説明可能性、透明性を兼ねた責任あるAI技術を通じて、持続可能な社会のためのAI開発を目指しています。説明可能なAI、データバイアスの軽減、生成AIのコントロール、プライバシーに配慮するための技術などの研究開発に注力しています。

また、ソニーはAI製品やサービスの開発過程で直面する課題 (倫理的なデータ収集およびアルゴリズムの公平性など) に関しても2021年に、ソニーAI内において、AI倫理フラッグシッププロジェクトを立ち上げ、最先端の研究を行っています。幅広い事業を展開するソニーの特性を生かし、グローバルかつ多様性のある視点から、公平で透明性のあるAIの実践に取り組んでいきます。

[☞ ソニーグループのResponsible AIへの取り組み](#)

Sony's Purpose & Values

ソニーグループ行動規範

ソニーのサステナビリティに関する基本方針

Sony's Sustainability Vision

At a Glance 2023

編集方針・事業概要

ソニーのサステナビリティ

マテリアリティ

人材

安全衛生

人権の尊重

責任あるAIの取り組み

概要

責任あるAIの推進

アクセシビリティ

品質・カスタマーサービス

責任あるサプライチェーン

コミュニティ・エンゲージメント

環境

テクノロジーの活用

倫理・コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス

サステナビリティ関連情報